

事務事業名	40347 歩行者自転車道路整備事業													
担当組織	都市整備部						道路河川課			担当	道路改良担当			
組織コード	H30	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	08	02	03	02	01	記入日	平成30年06月05日
	H29	20	09	00		H29	01	08	02	03	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外
分野	03	道路										
施策	54	道路網の整備・充実										
事業期間	平成25年度～平成42年度											
根拠法令 通達等	道路法 道路構造令 道路橋示方書 埼玉県福祉のまちづくり条例					関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画 戸田市歩行者自転車道路網整備計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの											
対象	市民、通行者及び沿道利用者											
事業目的	歩行者と自転車に関連する交通事故の発生割合が増加している傾向にあることから、安全な歩行空間の確保を第一義とした道路空間の再配分を行い、自転車レーンの整備と歩行者・自転車・自動車の3者それぞれの安全性と円滑性を高める。											
事業内容	歩行者自転車道路網整備計画の推進、道路空間再配分の検討、歩行者・自転車・自動車走行空間設計及び工事、自転車走行空間を明示する路面標示の実施											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 実施結果

事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
事業内容	市道第301号線外1路線設計業務委託及び市道第	市道第106号線外1路線設計業務委託及び市道第	市道第400号線外2路線設計業務委託及び市道第	市道第431号線外4路線設計業務委託及び市道第	市道第400号線外1路線設計業務委託及び市道第			
事業費	50,753	58,786	79,475	103,541	60,217			
財源内訳	国庫支出金	0	5,313	15,187	13,124			
	県支出金	0	0	0	0			
	起債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	50,753	53,473	64,288	81,147	47,093		
人件費	4,483.05	4,483.05	4,483.05	4,483.05	4,483.05			
投入人員	常勤職員	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人			
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人			
事業費+人件費	55,236	63,269	83,958	108,024	64,700			
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	
	活動①	歩行者安全対策実施延長		m	歩行者と自転車の通行箇所分離工事実施総延長	4,650	5,650	7,060
	活動②					4,650	5,900	-
	成果①	自転車レーン整備率		%	整備延長/総延長(28.7km)	16.2	19.7	24.5
	成果②					16.2	20.5	-
	目標達成状況の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」に基づき、自転車通行空間の整備を計画どおり進めている。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<p><判断理由></p> <p>市民のニーズである「安全で快適な歩行空間が整備されたまち」を実現するために、歩行者空間の安全を第一義に考え、歩行者と自転車の通行空間を確保するために道路網を新たに創出することから、施策への貢献度は高いと考えている。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<p><判断理由></p> <p>本業務は、県の設計基準、単価に基づき積算し、入札により受注者を決定している。施工方法や使用材料の再利用等、経費の削減を図っており、経費の精査は十分である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>歩行者が安心して通行できる道路空間を提供するため、自転車通行空間の設置や歩道整備は必要であり、事業手法は適正である。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<p><判断理由></p> <p>交通量が多い路線、歩行者と自転車に関わる交通事故が多い路線や広域的なネットワーク化を考慮し、整備を進めていることから、受益・負担の公平性は適正である。</p>

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	自転車通行空間に整備する矢羽根型の路面標示の工法を「薄層カラー舗装」から「溶融性噴射式カラー塗装」に変更した。
見直しの効果	工法の変更により、塗料の厚さ管理が容易となり、自転車通行の快適性の向上を図った。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<p><判断理由></p> <p>市民の安全第一と快適な通行空間を確保するために「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」（以下、「計画」という。）が平成25年4月より施行されている。</p> <p>この計画では、歩行者・自転車・自動車の3者が安全で安心して通行できる道路網の実現に向けて、利用者が混在している道路の空間再配分を行い危険個所の解消を目指している。</p> <p>特に、交通安全対策の充実としては、歩行者や自転車に関連する事故を抑制するための環境創出が大切であることから事業は継続する。</p>
今後の取組方針	<p>事業実施効果を早期に発現させるためには、道路網（ネットワーク）形成を十分考えながら取り組んでいく必要がある。基盤整備事業は事業費が嵩むことから、既存道路の有効活用を考え、実行していかなければならない。また、ネットワークの充実に向けて国道や県道の整備も重要であり、引き続き、各道路管理者へ整備を求めていきたい。</p>

事務事業名	7154 街路事務費													
担当組織	都市整備部						道路河川課				担当	道路改良担当		
組織コード	H30	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	08	04	02	01	01	記入日	平成30年06月05日
	H29	20	09	00		H29	01	08	04	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										○ 対象		
分野	03	道路										● 対象外		
施策	54	道路網の整備・充実												
事業期間	平成18年度～平成32年度													
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象														
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）													
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													

2. 実施結果

事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	
事業費	2,077	2,226	2,226	2,226	2,226	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	2,077	2,226	2,226	2,226	2,226
人件費	620.73	620.73	620.73	620.73	620.73	
投入人員	常勤職員	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	2,698	2,847	2,847	2,847	2,847	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由> 街路事務事業全般に亘る庶務的事務であり、事務事業評価にそぐわないため。					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 街路事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。
今後の取組方針	街路事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。

事務事業名	30225 都市計画道路前谷馬場線整備事業													
担当組織	都市整備部						道路河川課				担当	道路改良担当		
組織コード	H30	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	08	04	02	02	01	記入日	平成30年06月05日
	H29	20	09	00		H29	01	08	04	02	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間	平成21年度～平成35年度												
根拠法令 通達等	都市計画法第19条、同法第56条、道路法						関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 第2次戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画					
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象	歩行者や車両などの道路利用者												
事業目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的とする。												
事業内容	戸田駅へのアクセス道路として、また市中央部の南北を結ぶ幹線道路として整備を実施する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		265,112	222,394	97,588	328,379	341,573	
	財源内訳	国庫支出金	61,804	19,965	25,250	80,574	78,937	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	203,308	202,429	72,338	247,805	262,636	
	人件費		9,724.77	9,862.71	13,311.21	13,311.21	13,311.21	
	投入 人員	常勤職員	1.41人	1.43人	1.93人	1.93人	1.93人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		274,837	232,257	110,899	341,690	354,884		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動 ①	物件移転補償調査	筆	用地買収箇所調査	5		4	4
					5		4	-
	成果 ①	用地買収面積	㎡	用地取得面積 (全体取得面積4,035㎡)	240.06		343.95	222.54
					240.06		343.95	-
成果 ②							-	
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 粘り強く交渉を進めたことで地権者から事業への理解を得ることができ、目標どおりの実績とすることができた。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 市民が安全で快適に移動できるようにするためには重要な事業であり、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図るための用地交渉が進められており、目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 本業務は、県の設計基準、単価に基づき積算し、入札により受注者を決定しており、経費水準は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 都市計画道路を整備する一般的な手順（基本設計・用地測量・用地交渉・実施設計・工事実施）を踏んでいることから、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 本市中央部を南北に結ぶ路線であり、戸田駅へのアクセス道路である。また通学路でありながら歩道が配置されていない状態であることから、交通安全対策の充実、更には景観に配慮した整備が求められており、受益・負担は適正な範囲である。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 平成21年度の事業着手より9年が経過し、用地買収率は約67%となり、概ねの沿道地権者からは理解を得ながら事業を進めることができている。今後は、より一層の沿線権利者と積極的な交渉等を行うことにより、円滑な事業展開が図れるように現体制にて事業は継続とする。
今後の取組方針	都市計画法上の事業認可を受けている新曽柳原交差点から二枚橋交差点の区間（第一工区）については、歩行者・自転車の安全性確保のため、暫定歩道の整備を進めるとともに、今後の本整備に向けた取り組みを進め、第二工区についても、事業認可の取得等の取り組みを行っていく。また、事業にあたっては引き続き国庫補助金を活用していく。